

## 臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：両側眼窩下神経腫大を合併した AFRS 例

### <目的及び概要>

両側眼窩下神経腫大を合併した AFRS 例について日本鼻科学会などの学会での発表を行う。

### <研究方法>

症例報告

アレルギー性真菌性副鼻腔炎(AFRS)は真菌に対するアレルギー反応が原因とされる再発率の高い難治性鼻副鼻腔炎であり、鼻内ポリープやニカワ状の貯留物により鼻閉や嗅覚障害が生じる。両側眼窩下神経腫大を合併した AFRS に対して EMMM の有効性や眼窩下神経腫大と副鼻腔炎の関連性について報告する。

### <研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

### <研究者>

耳鼻咽喉科： 端山昌樹 他

### <問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課  
電話：0798-34-5151（代表）

令和 5 年 9 月 26 日倫理委員会承認（迅速審査）（受付番号 R5-44）